

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
琵琶湖水質担当  
平成2年4月11日

第2報

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue*</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	320		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	140		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Rhizosolenia longiseta</i>	20		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	200		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	24000	◎	◎
(珪) <i>Synedra acus</i>	1240	○	○
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Ankistrodesmus falcatus</i> var. <i>mirabile</i>	60		
(緑) <i>Closterium</i> sp.	20		
(藍) 藍藻綱	20	0.1	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	26020	98.7	98.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	0.8	0.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	120	0.5	1.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	26360	総体積 (μm <sup>3</sup> ) 1.33E+07	
種類数	14		

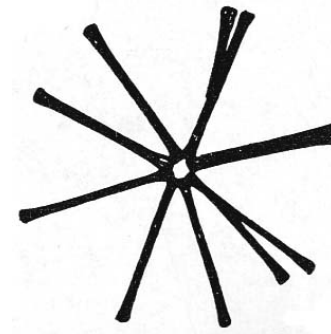
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし \* 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

## 植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	24000

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Synedra acus</i>	1240

### 植物プランクトン第1優占種



***Asterionella formosa***  
(ホシガタケイソウ)  
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

### 植物プランクトン第2優占種



***Synedra acus***  
(ハリケイソウ)  
珪藻綱

殻は非常に細い針状で両端はやや丸くなる。*Synedra* 属中では大型の種類である。